

特性の一つとして注意しなければならない。三面に海をめぐらし、海岸線は長くて非常に複雑である。北は北極海に面し、西は廣く大西洋に開けてゐるが、南の地中海はそれらとちがつて、陸地に深く入り込み、幾多の部分に分れた内海である。

地中海はヨーロッパとアフリカとを隔てるばかりでなく、その水は黒海とも通じて、いはばヨーロッパとアジアとの境界の二部となつてゐる。しかも地中海には、各所に陸地との間に飛行のやうな島々が散在し、又長い半島が突き出て對岸に接近してゐるなど、周囲の地域を隔離するよりも、むしろ互に結びつけるのに役立つてゐる。ヨーロッパの歴史が東地中海の地域から始るのは、アジア及びアフリカとの關係の深かつたことをよく物語つてゐる。又かつて地中海を中心として、幾度かこの地域にまたがる國の出來たことも、このことをよく證明してゐる。

氣候、ヨーロッパ本土の中で一番南に當るイベリヤ半島の南端は凡そ北緯三十六度で、東京よりも半度はばかり北にある。ロンドン・モスコは北緯五十度以北

にあつて、これをわが國やアジアの諸地方などに比べると、ヨーロッパではずつと緯度の高い地方に活動の中心地があることがわかる。これはヨーロッパの冬が緯度の割合に氣溫の高いことによるのであり、この現象は主として大西洋沿岸を流れるメキシコ灣流といふ大きな暖流と、その上を吹く偏西風との影響に基づいて起るのである。

しかも主な山脈が、大體東西の方向であるから、濕氣を含んだ西風は内陸へ遠く吹き入ることができて、高緯度の氣候を和けると共に、東部をのぞき、一般に適度の降雨を與へてゐる。殊に大西洋沿岸は夏冬の氣溫の差が少く、よく海洋性氣候の特色を呈してゐる。しかし大西洋から東へ遠ざかるに従つて、その影響が減少して行くのは事實で、東部ヨーロッパでは雨が少く、寒暑の差の著しい大陸性氣候を示してゐる。

周圍に山脈をめぐらした地中海沿岸は、一般に雨が少い。殊に夏は乾燥して、冬、降雨のある地中海性氣候を呈する。明かると乾燥した地中海沿岸の南歐は、ヨーロッパの他の地域とはちのちがらちがつた趣を

暫定中等地理一

文部省

文部省調査局刊行認贈

(中) ¥ .30

(51)

目 録

(一) 東部ヨーロッパ	十五
(二) 北部ヨーロッパ	十七
(三) 中央ヨーロッパ	十八
(四) 西部ヨーロッパ	二十三
(五) 南部ヨーロッパ	二十七

昭和 21 年 7 月 9 日 印刷 同日翻刻印刷
昭和 21 年 7 月 13 日 發行 同日翻刻發行
(昭和 21 年 7 月 13 日 文部省検査済)

著作權所有

著者
發行

文 部 省

APPROVED BY MINISTRY
OF EDUCATION
(DATE July 9, 1946)

翻刻發行者

東京都神田區岩本町三番地

中等學校教科書株式會社

代表者 加 野 正 吾

東京都牛久保市岩本町一丁目十二番地

大日本印刷株式會社

代表者 佐久間長吉郎

印刷者

もつてゐる。

寒暑共に厳しくないので、衣服は大體夏冬の二種で足りる。又暴風なども少い。かやうに全體としてヨーロッパが悪まれた氣候のもとにあることは、住民の活動に對して極めて好都合な條件であるといはねばならない。隨つてヨーロッパの大部分は、氣候が農業や牧畜に適してゐて、不毛地が少く、土地は到るところよく利用されてゐる。

住民・政治 ヨーロッパは人口約五億三千萬、大部分がヨーロッパ人種で、その主要なものにチュートン・ラテン・スラブの諸族がある。

チュートン族はイギリス人やドイツ人によつて代表され、スカンジナビヤ方面にも居住し、現在は最も高い文化を有する。ラテン族はフランス・イタリア及びイベリヤ半島などに分布し、その文化は一般に早く開けた。スラブ族はロシア人によつて代表されるが、その分布は更に、中歐の一部からバルカン半島に及んでゐる。このほかアジア人種に屬するトルコ・マジヤール・フィン等の諸族が島のやうに散在的に分布するが、

多くは既に著しく歐化されてゐる。

ヨーロッパ人種の間にはキリスト教があまねく信ぜられ、ヨーロッパの文化とは切り離すことのできない深い關係をもつてゐる。キリスト教のうち、新教は主としてチュートン族の間に、舊教はラテン族の間に、又ギリシヤ教はスラブ族の間に信ぜられてゐる。その他、バルカン方面やロシアには回教徒も少くない。

ヨーロッパには多くの民族があつて、大小數多の國國がつくられてゐるので、國境が甚だ複雑であり、各國の關係も亦同様に複雑である。互に近接するこれらの國々が、各自の特性を發揮しつゝ、その發展を競ふことは、文化の向上に大きな貢獻をなした。

(一) 東部ヨーロッパ

ロシア(ソビエト聯邦)

自然 東部の低いツラル山地をのぞけば、大部分が廣大な平原の地域を占め、中に二、三百メートルを超えない程度のおだやかな丘陵があるに過ぎない。

この平原の中をロシアの母と呼ばれるボルガ川をはじめ、ドニエプル・ドン・ドビナ等の川が緩かに曲流

し、それらに注ぐ幾多の支流と共に、複雑な水路網をつくつてゐる。

氣候はヨーロッパで最も大陸性の特色を示す。冬は全地域を通じて氣温が氷點下に降り、河川の凍結期間が南部で三箇月、北部で七箇月に及ぶ。雨量は一般に少いが、殊に南部に少く、この地方には草原が廣く分布してゐる。北部には針葉樹や白樺類の廣い森林があつて、タイガと呼ばれる密林をなし、その間には沼澤地が散在する。

文化 住民の大部分はスラブ族のロシア人で、三種に分れてゐる。ロシア共和国の大ロシア人が半分以上、ウクライナの小ロシア人が約五分の一、西部の白ロシア人は、純粹なスラブ族であるが、その数は遙かに少い。ユダヤ人は各地に散在し、經濟方面で重要な地位を占めるものが多い。

政治的にはロシア共和国を中心とし、東歐からアジアにかけて存在する幾つかの自治共和国がソビエト聯邦をつくつてゐる。

ロシア人は農民としての傳統的な生活や、氣候の試

煉などの影響によつて、強健な身體と困苦に耐へる粘り強い性質をもつてゐる。

ロシアは平野が廣い上に、南部に黒土地方と呼ばれる肥沃な土地がある。随つて農業が特に發達し、盛んに機械を使用して大規模に營まれてゐる。小麥・大麥・ライ麥・燕麥等の麥類や馬鈴薯・亞麻・大麻等は、いづれも世界有数の産額を示し、甜菜・煙草等の産も多い。ヨーロッパの穀倉の名にふさはしく、住民の大部分は農業に従事してゐる。黒海沿岸にあるオデッサは穀物の輸出港として名高い。

又草地が廣いので、羊・牛・馬等の牧畜が盛んであり、馬の頭数は世界一である。かやうに農牧業の規模が大きいことに於いて、米國と似てゐるが、それは兩者が共に廣大な平野をもつてゐるからである。

中部から北部にかけて分布する森林の面積は、國土の約三分の一に達してゐる。随つて木材の産が多く、主要な輸出品として、レニングラードから盛んに輸出される。

ロシアでは近年、いはゆる産業五箇年計畫をくり返

し行ふことによつて、俄かに活氣を呈し、從來不振であつた工業も急速に勃興した。石炭の採掘、水力の開發など動力源の利用が盛んに行なはれ、大都市や炭田附近には工業地帯が出現した。

南部のドネツ川流域には豊富な炭田があり、附近に鐵礦の産地が伴つてゐるので、重工業その他の工業が急速に發達して、重要な工業地帯をなすに至つた。南部の主要都市であるスターリングラード・ハルコフ・キエフ等はいづれも工業都市として活氣を帯びてゐる。又モスコフ附近やウラル地方などにも、炭田と鐵礦地が相伴なり、それら工業地帯をつくつてゐる。又製鐵に必要なマンガン等の産額は世界一であり、そのほか岩塩・金・銅等も少くない。

首府モスコフは國內交通路の集るところであり、人口約四百萬の世界的大都市である。これに次ぐレニングラードはもとの首府で、バルト海への唯一の門戸をなしてゐる。

(二) 北部ヨーロッパ

フィンランド 國內には低い丘陵地が多く、そこに

は廣く氷河作用の跡をとめてゐて、到るところ岩石が露出し、急流や小瀧がある。その間には無數の湖沼が散在して、水面の總面積は陸地のそれと殆ど同じである。又起伏する丘陵の表面には、針葉樹と白樺の林が続いてゐる。

住民はアジア人種に屬するフィン人で、體育と競技に熱心で、教育も普及してゐる。湖水や急流は水力發電に利用され、製材及び製紙・パルプ工業が行なはれて、主要な産業となつてゐる。首府ヘルシンキは、貿易港を兼ねてゐる。

スウェーデン・ノルウェー スカンジナビヤ半島はヨーロッパ北部にある大きな半島で、内側にバルト海が奥深く入り込んでゐる。一般に高原狀をなし、分水嶺が西に片寄つてゐるため、東側のスウェーデンでは地勢がやゝ緩かであるが、西側のノルウェーは山地が直ちに海に迫り、海岸には高い斷崖が連なつてゐる。さうしてそこには氷河作用によつてつくられた多くの峽灣が陸地深く食ひ込み、その静かな水面に、岩壁を落下する瀧の影を映してゐる。

この半島は廣く森林におほはれ、その間に多くの湖沼が散在してゐる。高緯度の地方であるから、氣候は寒冷で、冬、バルト海の大部分が凍るのは、水運上、大きな缺點である。しかし大西洋岸はメキシコ湾流の影響を受けるから、ノルウェーでは北部の海岸も凍らない。高緯度地方のため、夏は朝晩の薄明が長く、微光に照らされた山野の景色は秀麗であり、冬の夜は非常に長く、極光を見ることが稀でない。

農牧業は平地の比較的廣いスウェーデンの南部で發達し、酪製品生産も少くない。

兩國共森林が大きな富源で、水力電氣を利用して、到るところに用材・パルプ・紙・マツチ等の製造が行なはれ、主要な産物として各地へ送られる。スウェーデンは良質の鐵礦を多く産するが、石炭の産出に乏しいので、多くは鐵石のまゝ英國などへ輸出される。

スウェーデンの首府ストックホルムは、市街の一部が岩石の小島にあり、王宮などの建物海水にのぞむ美しい貿易港である。又ゲーテボルグは工業の盛んな貿易港である。

首府のワルソーは、ウィスツラ川にのぞむ工業都市で、又水陸交通の便がよい。ウィスツラ川口のダンチヒは、古くから有名な港市である。

ドイツ 北部はポーランドから続く低濕な土地で、海岸には砂丘が發達してゐる。この地方は、氷河の運んだ砂礫と粘土で廣くおほはれてゐる。ウェーゼルとエルベ、及びオーデルの諸川は、浅い谷の中を緩かに西に流れてゐる。いづれも水量が豊かである上、互に運河によつて結ばれてゐるので、水運の便が多い。南部は高さ二千メートルに達しない幾つかの山地があつて、一帯の高地をなし、南境にはアルプスの山岳地帯が急にそびえ立つてゐる。

氣候は比較的温和で、南部に進むに従つて土地が高まるので、氣温は概ね平均してゐる。南部の山間盆地は雨が少く、温暖で葡萄の栽培に適する。

山地と丘陵の中腹には科學的な方法によつて林業が行なはれ、ドイツ唐櫟などのみことな森林が成育してゐる。

チュートン族のドイツ人は科學思想に富み、日常生活

ノルウェーの近海は世界的の好漁場で、鱈・鯨等の漁獲が多く、ベルゲンその他の漁港が發達してゐる。首府オスロは南部の入江にのぞみ、重要な門戸となつてゐる。ハンメルフェストの漁港は、ヨーロッパ最北の町である。

スウェーデン・ノルウェー二國の住民は薄朴で、敢爲な氣象に富み、古來航海の技に長じてゐる。特にノルウェーは世界有数の海運國として商船の數が多い。

(三) 中央ヨーロッパ

ポーランド 國の大部分は平原をなし、氷河の堆積物でおほはれてゐる。南部にはカルパチヤ山脈が連なつてゐるが、あまり高くはない。この山地に發源するウィスツラ川は國土の大半をその流域として、重要な水路となつてゐる。

住民の主なもののはスラブ族のポーランド人である。農業が最も盛んで、ライ麦や燕麥のほか、馬鈴薯・甜菜等の産があり、カルパチヤ山地には油田がある。又ウィーリツカの岩塩は豊富であり、南西部の上シレジエン地方には、石炭と鐵礦を産出する。

活は甚だしく規則的である。音樂の趣味が深く普及して、昔から偉大な作曲家を出した。しかしこの國は第二次歐洲大戰に於いて慘敗し、目下聯合國軍の占領下に置かれてゐる。

農産物として、黒パンの原料となるライ麦は、馬鈴薯と共に東北部の瘠地に多い作物である。馬鈴薯はこの國の盛んな養豚の飼料、並びにアルコールの原料としても重要である。小麦及び大麥の耕作は南部に盛んである。又ビール醸造に用ひられるホップの品も南部に多い。

鐵産物では石炭が最も重要で、鐵礦と共に南部山地が主産地となつてゐる。なほ岩塩・加里塩も重要な資源である。

交通機關が整備してゐて、鐵道網も甚だ密であり、位置の關係から國際列車が多く通過する。又自動車道路の發達は著しく、全國の大都市を連絡してゐる。各河川を結ぶ運河が發達し、水運の便もよく、特にライン川やエルベ川は重要な水路である。

ザクセンのライプツヒヒは、出版業と、歴史の古い大

學によつて著名である。首府のベルリンは交通の要路に當つてをり、戦前四百萬の人口を算した。北海とバルト海を連絡するキール運河は各國に利用され、通過する船舶が多い。バンブルグとブレートメンはそれぞれエルベ・ウーゼルの下流にあり、これまで廣い後背地を有する貿易港であつた。

ラインの支流ルールの流域には、廣大なルール炭田があつて、この國第一の工業地帯をつくつた。ケルンはライン川の重要な河港である。ラインの谷は良好な農業地帯をなし、又各地に工業都市があつて、人口が密である。河岸には葡萄が連なり、この國に於ける葡萄栽培の中心地となつてゐる。

パッサリヤ地方の主都ミュンヘンは、アルプスに近い高原の上にあり、ビール醸造で知られる。

チェッコスロバキヤ この國は西スラブ族のチェック人とスロバック人が住民の大部分を占めてゐるが、西部にはドイツ人が多く、三種の言語が用ひられる。エルベ川流域のボヘミヤ盆地は豐沃な農業地で、山地には石炭と鐵鑛の産地がある。又この地方は、色彩の美

で知られたボヘミヤガラスの製造が盛んである。首府のプラーク（プラハ）は盆地の中央に位し、工業地帯の中心地である。

オーストリア 國の大部分はアルプスの東部に當る山地で、平地は僅かにドナウ川沿岸に限られてゐる。住民はドイツ人である。

森林が廣く分布し、山腹や谷底には、所々に牧場が見られる。さうして酪農業は、この國の自然に適應して發達してゐる。

水力電氣の利用が普及してゐて、鐵道は殆ど電化され、工業では製紙工業と精密機械の製造が行なはれる。ドナウの河畔に首都のウィーンがある。古い歴史をもつ都市で、交通の要地に位し、美術工藝に著れてゐる。

ハンガリー この國は大部分が平地であつて、この點オーストリアと著しい對照を示してゐる。ドナウ川の本流及び支流は、平坦な盆地の中を緩かに曲流してゐる。氣候は大陸性で雨量は少いが、初夏に降雨があるので、ハンガリー平原では農業がよく行なはれ、穀

物や馬鈴薯・甜菜等を多く産する。又廣い草原があつて、羊や牛・馬の牧畜が盛んである。

住民は主としてアジア人種のマジヤール人で、歐洲化されてゐるが、なほ言語・風俗・氣質等に周圍の諸國とちがつた特殊性があつて、いはば人種的島嶼の觀がある。

首府ブダペストはドナウ川にまたがり、交通・商業の中心をなしてゐる。

スイス 南部には高峻なアルプスの峻嶺が連なり、四千メートル以上の高度を示すものもある。ローヌの縦谷を隔ててそびえる高峰群のうち、特に著名なユングフラウには、三千四百メートルの高所に達する登山鐵道があつて、秀麗な岩峰や氷雪の美を賞することが出来る。山間にある氷河湖は、水色が藍のやうに濃く、四周の山影を映じてゐる。

住民はドイツ人が最も多く、他はフランス人とイタリア人で、列強の緩衝國として永世局外中立國となつてゐる。言語には三種の公用語が用ひられ、國民は堅實な生活を營んでゐる。

山腹や丘陵地に分布する牧草地では、牛が飼養され、良質のチーズと煉乳を産する。夏期には高山地で放牧が行なはれ、村人の一部は山麓から家畜と共に移住する風習がある。

瀑布を利用する盛んな水力發電によつて、鐵道は全線に互つて電化され、種々の工場も電力を使用してゐる。工業に従事する人口が最も多く、精密機械のほか電氣機具なども製作され、特に時計の産は名高い。精巧な織物工業は古い起原を有し、近年は化學工業も發達して來た。

壯麗な山姿と澄明な水色を有するスイスは、世界的な觀光地であつて、ホテルの設備がよく、登山鐵道の便があり、觀光産業による利益は大きい。

山國ながら、その位置が交通上重要なために、數條の歐洲幹線鐵道がこの國を通過してをり、鐵道網は甚だ密である。アルプスの峻も、幾つかの長いトンネルによつて横斷されてゐる。

首府ベルンは高原の中央にあり、絹織物業が盛んで種々の國際會議が開かれる。ジュネーブ及びチューリッ

ヒはそれ／＼同名の湖にのぞむ景色のよい都市で、ジュネーブには萬國赤十字社の本部があり、時計の製造で名高い。チューリヒは織物業地である。

オランダ 國の大部分はライン及びマースの河流が築いた三角洲平野である。ネーデルランドの國名は低地を意味してをり、國土の約四分の一は海面よりも低い。低地の周囲には堅固な堤防を築き、到るところに溝渠を掘り、ポンプや風車を使つて排水してゐる。ゾイデル海では、現在大規模な干拓事業が行なはれてゐる。干拓によつて得られた土地はボルダーと呼ばれ、地味極めて肥沃である。

オランダの氣候は海洋性で、湿度が高く、海霧が多くて、快晴の日は少い。卓越する偏西風を利用する水邊の風車は、昔ながらに回轉してゐる。

住民はチュートン族のオランダ人が最も多い。古來、航海・商業に長じ、かつては歐洲の諸國を歴して、世界の海に活躍したこともあり、當時わが國とも通商して、西歐の文化を傳へた。女王をいたゞく立憲君主國であつて、海外に廣い植民地を有してゐる。

ボルダーは牧草の生育に適し、牧牛が盛んに行なはれて、チーズ及びバタの産額が極めて多い。ハーレム附近の砂質粘土の地域では、園藝が大規模に行なはれ、チューリップやヒヤシンスなどの島が連なり、それら草花の球根は、世界の各地に輸出される。

ドイツ・フランスを後背地とするライン河口のロッテルダムは、この國第一の貿易港で、造船業が發達してゐる。アムステルダムは歴史の古い港市で、金剛石の加工は獨得の工業である。ハーグは政廳の所在地である。

ベルギー 地形上、三つの地帯に分けられる。北部は低平な土地で、中部は丘陵性の地域をなし、南部は高原地帯である。立憲君主國で、植民地としては、アフリカに廣大な白領コンゴがある。

農業は北部低地及び中部丘陵地で行なはれ、土地が肥沃である上に國民の努力が加つて、世界一の收穫率を示してゐる。高原の南部では鐵の産額が多く、山麓には豊富な炭田があつて、リエージュの製鐵業をはじめ、ガラスその他の化學工業、毛織物業が盛んである。

この國の鐵道網の發達と人口密度の大きいことは、世界第一である。

アンベルスはシェルト川の下流にのぞみ、滿潮時には大型の汽船も出入することができる。首府のブルッセルは、市街が清麗で小バリーの稱があり、精巧なレースを産する。

ルクセンブルグはベルギーの南東にある小國で、同名の首府がある。

デンマーク この國はユトランド半島の大部分と附近の島々とから成り立ち、バルト海と北海の通路に當る大切な位置を占めてゐる。國民はチュートン族で、農民の教育が進んでゐるので、元來地味は肥沃ではなすが、土地の經營がよく行き届き、農牧業が模範的に發達してゐる。特に酪農が發達し、バターはこの國の最も重要な輸出品である。首府コペンハーゲンが東部の島にあつて、バルト海の門戸に當り、貿易が盛んである。

北大西洋上にあるアイスランドは、かつてデンマークが領してゐたところで、デンマーク王が國王を兼ね

てゐるが、今では獨立國と同じやうな自治を行なつてゐる。

到るところに火山があり、高所には巨大な氷河がかつてゐる。温泉が川になつて流れてゐるものや、高く熱湯を吹きあげる間歇泉などが見られる。

(四) 西部ヨーロッパ

イギリス(英國)

自然 イギリス本國は、グレートブリテンとアイルランドの二つの主要島、及び附屬の小島から成り立つてゐる。大ブリテン島はイングランド・ウェールズ・スコットランドの三部に分たれ、アイルランド島は北アイルランドとユイレ國とから成つてゐる。

イングランドは、大ブリテン中、土地の最も低い地方で、北部のベンニン山地をのぞけば、臺地性の丘陵が緩かに起伏し、その間にチームス川・ハンバー川等の沿岸の低地が横たはつてゐる。ウェールズは概ね山地である。

スコットランドは山がらで、氷河作用を受けた地形の特色をよく現し、その侵蝕によつて出来た多くの湖

沼が、静かな山間にたゞへられ、海岸には小規模の峽海が發達してゐる。

アイルランドは周圍に丘陵をめぐらし、内部に沼澤地の多い低地がひろがつてゐる。

イギリス諸島はすべて北緯五十度以北にあるにもかかはらず、メキシコ灣流の影響を受けて、氣候は極めて温和で、海洋性の特色を示してゐる。夏も涼しく、冬の寒さも緯度の割合には遙かに凌ぎ易い。一般に雨量が豊かで、湿度の大なことは、紡績業には好都合であるが、濃霧が發生し易く、ロンドンの中では、しばしば交通を妨げるほどである。

文化 住民の大部分はチュートン族のアングロサクソン人で、概ね新教を信じ、教育が普及し、常識に富んでゐる。原住民のケルト族は、ウェールズの山地やアイルランドに多く、舊教を信じ、ケルト語を用ひてゐる。

グレートブリテンと北アイルランドは、聯合して立憲君主國の英本國をつつてゐる。北部をのぞいたアイルランドの大部分は、別にエイレ國として、英國の

自治領となつてゐる。

英本國は廣く世界に分布する多くの自治領や、その他の領土を合はせて大英帝國を組織してゐる。随つてそれらの各領土と本國との通商のため、海運は極めて著しい發達を示してゐる。

英本國は工業の高度に發達した國であり、アイルランドは農牧を主とする國である。礦産物には石炭の産が多く、ペンニン山地の南部、ウェールズ南部及びスコットランドの中央低地などに主な炭田がある。しかも豊富な鐵礦産地が、炭田に近いところに分布してゐることは、工業の發達を促すに好條件となつた。

綿工業は最も重要な地位を占め、ペンニン山地西側のランカシャー地方がその中心で、マンチェスターを代表とする工業都市が分布する。原料の綿は米國やエジプトから輸入する。これに對し毛織物は、ペンニン山地東側のヨークシャー地方に盛んで、リーズはその中心である。又バーミンガム附近一帯の盛大な鐵工業や、グラスゴー・ニューカッスルをはじめ、所々の港で行なはれる造船業など、いづれもこの國の主な工業

である。

水産業は北海沿岸に盛んで、ドッガーバンクの漁場では、鯨・鮭等の漁獲が多く、東岸には多くの漁港が分布する。

英本國では住民の四割餘が鑛・工業に従事し、農業者は一割にも達せず、都市人口が八割を占めてゐる。随つて農業は振るはず、一年の收穫は僅かに三箇月の食糧を自給し得るに過ぎない。

虞誌 テームス川下流にまたがる首府ロンドンは、古い起原をもつ都市で、大英帝國の政治・經濟・交通の中心として、又世界的貿易港として繁榮してゐる。

市街は河岸を中心區として四方にひろがり、接續市を合はせて、人口八百萬を超える大ロンドンが出来あがつた。港の設備や山緒のある建物など、さすがに大國の首府にふさはしいものがある。

テームスの上流にあるオックスフォードは、ロンドン北方のケンブリッジと共に有名な大學都市である。マンチェスター・シェフィールド・リーズ・バーミンガムその他の工業都市を含む主要工業地域を後背地にも

つリバプールは、ロンドンに次ぐ大貿易港で、殊に對米貿易が盛んである。

スコットランドでは中央低地に石炭と鐵の産出が多く、クライド川の流域には工業地帯が發達し、その中心グラスゴーはこの國第二の大都市である。その東方のエジンバラは、昔のスコットランド王國の古都であり、學術の地として著れてゐる。

北アイルランドの中心はベルファストで、エイレ國の首府はダブリンである。

フランス

自然 中央よりや、南部にオーベルニュ高原があり、その東側はロース川の谷に向かつて、急に降下してゐる。ロースの谷を越えたイタリヤとスイスの國境には、アルプスの山岳地が連なり、中にヨーロッパ第一の高峰モンブラン（四八一〇メートル）がそびえてゐる。又南境には險しいピレネー山脈が一字に横たはり、イベリヤ半島との著しい境界をなしてゐる。

オーベルニュ高原は北西にのびて、ノルマンジー・ブルターニュ兩半島の丘陵性山地をつくり、その間に

セーヌ川流域のバリー盆地や、ロアール川及びガロンヌ川の流域にわたる低い丘陵地や平地がある。バリー盆地周囲の臺地がイギリス海峡にのぞむ部分には崖が長く続き、ブルターニュ半島には細長い灣入が多い。國の大部分は海洋性の温和な氣候であるが、地中海沿岸は温暖で乾燥してゐる。

文化 住民はラテン族のフランス人で、フランス語は發音が滑らかで言葉も豊富であり、國際的に外交語としてよく用ひられる。文學及び美術は著しく發達し、科學の方面にも獨創的な人が出てゐる。

農業は極めて盛んで、土地の七割以上が農耕及び牧畜に利用され、農業國の特色をよく示してゐる。小麦の收穫が最も多く、又葡萄の栽培が廣く各地で行なはれ、葡萄酒の産額は世界第一である。半島部の海岸と地中海沿岸では漁業が盛んである。

牧牛は湿润な北部の地方で行なはれ、バター・チーズの生産も多い。農牧の盛んなこの國は食料品に於いて、元來自給自足が可能である。

重工業の發達は比較的新しく、ローレンの鐵鑛を

用ひ、炭田の多い北東部で盛んに行なはれる。又諸種の織物業が昔から發達し、殊にロース河谷の組織物は著れてゐる。

この國はヨーロッパの樞要な位置を占めてゐるの
で、鐵道網は密に發達し、國際的幹線も多く、バリーはこれら鐵道の著しく集中するところとなつてゐる。河川の交通も便利で、主な川は互に運河で連絡されてゐる。

處誌 北東部のアルサス・ローレンの地方には鐵鑛及び石炭・加里塩が多く、工業の發達に大きな役割をもつてゐる。セーヌ流域の低地はバリー盆地で、その東部のシャンパーニュ地方では、丘陵の斜面に葡萄の栽培が盛んで、良質の葡萄酒を産する。いはゆるシャンペン酒はこの地方の名産である。

セーヌ川にまたがる首府バリーは、古い歴史をもつ都市で、戦前の人口は約三百萬に及んでゐた。市街は壯麗で名高い建築物や古蹟に富み、つばな並木をもつ街路が放射狀に走り、そこには趣味の高い公園や廣場が配置されて、都市美の世界的模範を示してゐる。

水陸の要地として商工業が榮え、又美術工藝品にすぐれてゐる。

ルアーブルはバリーの門戸に當り、英・米との取引が盛んである。ガロンヌ下流のギルドーは葡萄酒の輸出港として名高い。ロース川の急流にのぞむリオンは組織物業の中心地である。

地中海沿岸のマルセーユはこの國第一の貿易港である。その東方に當るリビエラの海岸地方は有名な避寒地で、カンヌ・ニース等の保養都市がある。

モナコ リビエラ海岸にあり、一小獨立王國をなしてゐる。

(四) 南部ヨーロッパ

イベリヤ半島 内部には廣い高原が横たはり、北東には高峻なピレネー山脈があつて半島部を區ぎり、又、南にはシエラネバダ山脈があつて、その一端は半島最南の突出部をなし、狭いジブラルタル海峡を隔ててアフリカ大陸の一角をのぞんでゐる。

北西部の沿岸地方は雨が多く、海洋性の氣候を示してゐる。地中海沿岸は夏著く乾燥し、冬暖かい地中海

性氣候の特色を呈する。内陸の高原は著しく乾燥し、しかも寒暑の差の甚だしい大陸性氣候で、所々に草原があり、半沙漠のところさへ見られる。

住民はラテン系統であるが、容貌には特徴があつて、眼も毛髪も殆ど黒い。衣服には装飾が多く、薄装の散策を樂しむのは、南國らしい風習である。文化が早く開けたところとして、古い建築や古美術には優秀なものがあるが、近代的施設には缺けるところが少くない。

住民の多くは農業に従事し、温暖な海岸地帯や河岸の低地では、灌漑によつて農業が發達し、小麦・玉蜀黍・米等を産する。北西部の海岸地方には牧牛が行なはれ、良質のチーズを産する。高原では廣く羊や山羊の牧畜が行なはれる。オリーブは一般に岩石の多い傾斜地に植ゑられ、オレンジは海岸地方に多い。葡萄の栽培は各地で營まれ、葡萄酒はオリーブ油及びコルクかしはから取れるコルクと共に、主な輸出品となつてゐる。

この半島は礦物資源に富み、北部に鐵、南部に銅、

水銀・鉛等が多い。しかし資本及び技術に乏しく、石炭の不足、交通の不便などが手傳つて工業は振るはず、鐵礦その他は多く鑛石のまゝ輸出される。

マドリードはイスパニヤの首府で、高原の中央に位し、交通の要地に當つてゐる。バルセロナはこの國第一の貿易港で、附近には水力發電所が分布し、工業も盛んである。

ポルトガルの首府リスボンは天然の良港で、風景の美しいところである。

イタリア 北にアルプスの天嶺を負ひ、南の方地中海へ長く突出した半島と附近の島々とから成り立つてゐる。

アルプスの西端から起るアペニン山脈は、半島を縦に通つてシシリー島に及び、更にその續きは北アフリカのアトラス山脈となつてゐる。この山脈に沿つて火山帯が通り、その中に有名なベネビヤス・エトナをはじめ、多くの火山がある。イタリアは世界でも火山や地震の多い國である。

半島部はよく地中海性氣候の特色を示し、青い空、

強い日光に輝く南歐の明かるさに満ちてゐるが、夏期の乾燥が甚だしい上に、森林の濫伐や牧畜の結果として、岩石の露出したところが多い。乾燥した石灰岩の山地では、オリーブ樹が栽培され、温暖な海岸地方には、レモン・いちじく等の果樹園が多い。葡萄は國內各地に栽培され、葡萄酒の産額はフランスに次いでゐる。

北部のポー川流域にあるロンバルジャ平野は、この國の主要な農業地である。小麦・玉蜀黍・馬鈴薯・甜菜・米等を産し、又養蠶も行なはれる。

鑛産物中、水銀や硫黄は世界でも一、二を爭ふ産額があり、又良質の大理石を産するが、石炭・鐵・石油等の重要鑛物は乏しい。

近年アルプス地方の豊富な水力を利用して、ミラン・トリノ等、北部の諸都市を中心に、纖維工業のほか、いろ／＼の工業が興つた。

この國はラテン族と舊教の本源地で、かつてヨーロッパ文化の中心をなしたところである。住民は美術・音楽に長じ、熱情的である。毛髪と眼は黒味を帯びて